

意見：白衣を使い回す事は衛生的ではなくランチョンマットや口ふきなどは、共働き家庭には負担。
回答：来年度から給食当番用のエプロンを持参しても結構です。また、口ふきは不要とします。ただし、学習から食事への環境を変えることや衛生のこともありランチョンマットはご用意ください。

意見：学習状況を把握するため、ドリルやテストは購入してほしい。
回答：区の方針で保護者負担軽減のため、ドリル等の購入は最小限にしてきましたが、学習に効果があるものは購入するようにしていきます。

意見：運動会のダンスやお遊戯みたいなのは、いると思う。子供が楽しんでいなく、見ていてもつまらない。
回答：運動会はよりふだんの体育の学習の発表のことや保護者・地域の参加も含めて内容を検討していきます。

意見：両親が共働きで家にいない間、クロムブックで動画を見てしまうので、家庭での管理が行き届かなくなる。
回答：クロムブックは学習のためのものです。3学期よりすべての区立学校で視聴制限をしています。本校では、「すぐーる」でお知らせしたとおりに、17時以降はYouTube、21～6時はネットの接続はできないようにしました。

意見：年間イベント表をもう少し早くお知らせいただけると参加出来ます。
回答：今後も年間行事予定表は年度当初に配付します。新しく決まったものはできるだけ早くお知らせします。

意見：後期の個人面談は必要に応じて実施し、全員でなくても良いのではないか。
回答：通知表は年2回となっています。そのため12月に2学期の学習や生活についてお知らせする個人面談、5・6年生は三者面談を12月に行っています。

意見：移動教室でのバス乗車までのお見送りを復活させてほしい。
回答：バスの配車が学校の西側道路のみとなつたため、移動教室の出発式は玄関で行っています。そのため保護者の参観を遠慮していただいている。歩道で通行人の迷惑にならない見送りは構いません。

意見：学校行事が少なすぎる。
回答：本校は体験的な学習に力を入れています。また、年2回の音楽フェス、敬老集会など、子供たちが主体的に企画・運営する催しもあります。今後も楽しい企画を工夫します。

意見：レベルアップの宿題や夏休みのような特別授業など、やりたい子が選択できるとありがたい。
回答：宿題に加え自主学習を行っている学年もあり、担任と子供と相談しながら取り組みを進めたいと思います。午前授業の日などに、希望者を募っての特別授業や講座も検討していきます。

意見：休み時間の外遊びを強要される。休み時間くらいは息抜きすることも必要ではないか。
回答：体力づくりのために中休みは校庭での遊びを推奨しています。昼休みは、図書室で過ごすこともできます。また、教室にトランプ等を用意してあり、雨天時は室内で遊べるようになっています。

意見：決定事項や事後報告ではなく、理由も知らせて欲しい。
回答：情報発信の改善に務めるとともに、丁寧な説明をしていきます。

意見：都民の日や創立記念日が休みではないのは
回答：週末の金曜日の授業時間を減らしたり、共働きの家庭に配慮したりするため都民の日等を休業日にしていません。また、来年度より入学式・始業式が2日遅くなり、授業時数の確保が大切になってきます。

意見：先生方の言葉遣いを直して頂きたい。
回答：教職員が子供の手本となるような丁寧な言葉遣いを心がけます。

板一小・板八小・中根橋小・板三中《板三中学びのエリア》



なかねばし

板橋区立中根橋小学校
学 校 評 価 報 告 号
令和8年1月14日

上がっています。授業を改善することによって、学力向上への取り組みをさらに進めていきます。

2 家庭教育について（設問7～9）

この設問は、肯定的な回答が多く、ほぼすべての項目では、「そう思う」が昨年度よりも数%ずつアップしています。保護者や地域の皆様が学校に関心をもち、協力していくとの意識がより一層強くなっていると思われます。お忙しい中でも積極的に学校に関わってくださることに感謝します。

3 お子さんについて（設問10～13）

設問10「学校へ行くのを楽しみにしている」は、大切な項目です。「そう思う」が約半数・「ややそう思う」が4割です。しかし、どの学年にも1割程度の否定的な回答があります。承認感が低かったり、疎外感を感じていたりする子供をQ-U（学級満足度調査）を活用して把握し、担任等の支援やスクールカウンセラーとの面談を今後もきめ細かく行うようにしていきます。学校は一人一人の子供に居場所があり、親和的な学級づくりにさらに努めています。

設問11は、設問1と関連する項目です。設問1では、学校が学力を身に付けさせようとしていることに対して9割以上が肯定的な評価ですが、学力が身に付いていると感じている割合は約10%下回ります。そのため確かな学力が身に付くように授業を改善していくこと、そして設問12の家庭学習の定着と合わせて、家庭と協力して自発的な学びの習慣化を図っていきます。

設問13の規則正しい生活については、SNSやゲーム、ユーチューブ等の過度な視聴による影響などを学年の発達段階に即して、定期的に意識を啓発する指導を行っています。主体的に時間管理する力を養うために家庭との連携を進めています。

学校評価アンケートの集計結果について

校長 東 みどり

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。先月にお願いしました学校評価アンケートの集計結果をご報告いたします。

お寄せいただいた学校評価は学年の実態を踏まえ、改善できることから取り組みを始めます。設問ごとに学校全体の集計結果と考察をお知らせします。この結果を次年度の学校経営、教育課程の編成に生かしてまいります。

○アンケート実施時期

12月3日～12月16日

○回答数	162名
1年生	27名
2年生	23名
3年生	25名
4年生	34名
5年生	21名
6年生	32名

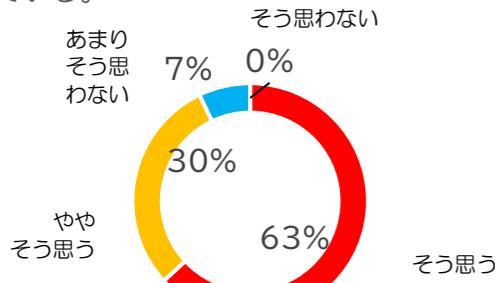
○考察

基礎学力の定着についての設問1では、「そう思う」が昨年度の評価に比べ7ポイントアップしていることは、学校が基礎学力を付ける指導をしていると感じる保護者が増えたことになります。それを裏付けるひとつの指標として、今年度、6年生対象の文部科学省が行った「全国学力学習状況調査」があります。本校の昨年度と今年度の結果を全国平均と比べると、国語は2.9ポイント、算数は0.4ポイント

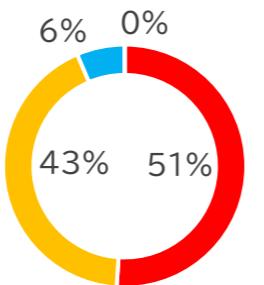
令和7年度 学校評価集計結果

選択肢 「そう思う」、「ややそう思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の4択
本校のホームページではカラーで掲載していますので、そちらもご覧ください。

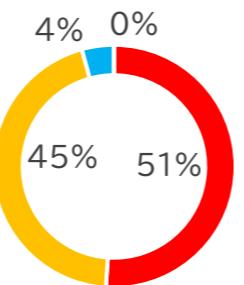
設問1 学校は、児童に基礎的・基本的な学力を身に付けさせようとしている。



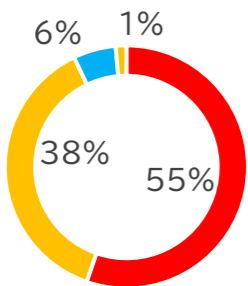
設問2 学校は、自立をめざし、学習や集団活動で、正しく判断しよりよい行動をする児童を育てている。



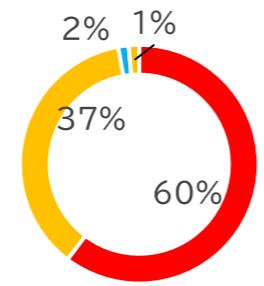
設問3 学校は、相手を尊重し、思いやりをもって人とかかわる力を育てている。



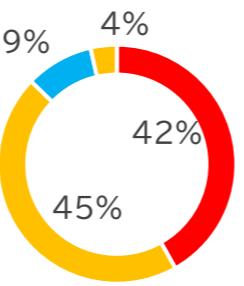
設問4 学校は、地域や保護者と協力しながら児童を育てている。



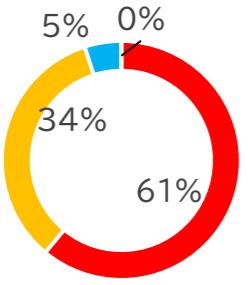
設問5 学校は、学校施設の整備や校内美化に努めている。



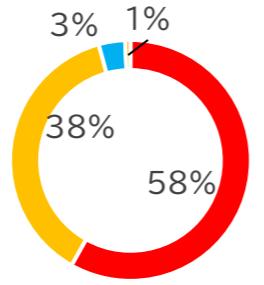
設問6 学校は、保護者・地域に適切に情報発信をしている。



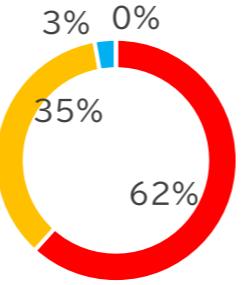
設問7 家庭は、学校での学習や生活の様子や友達関係について子供と話すようにしている。



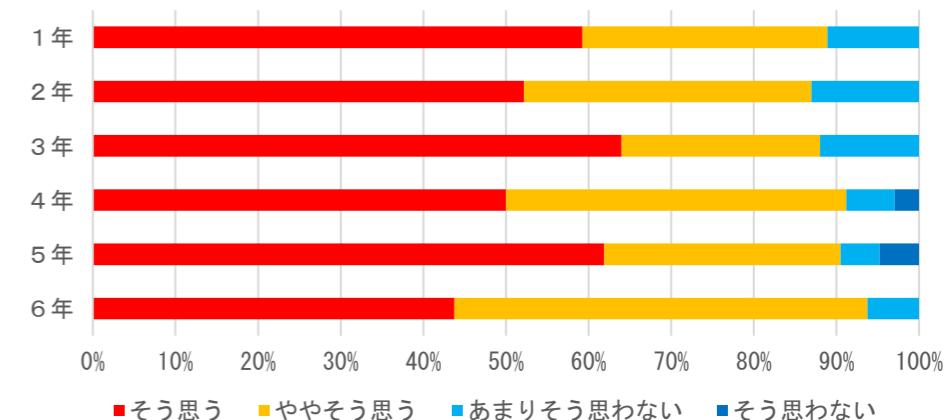
設問8 家庭は、学校公開や学校行事等にできるだけ参加し、子供の姿を見ようとしている。



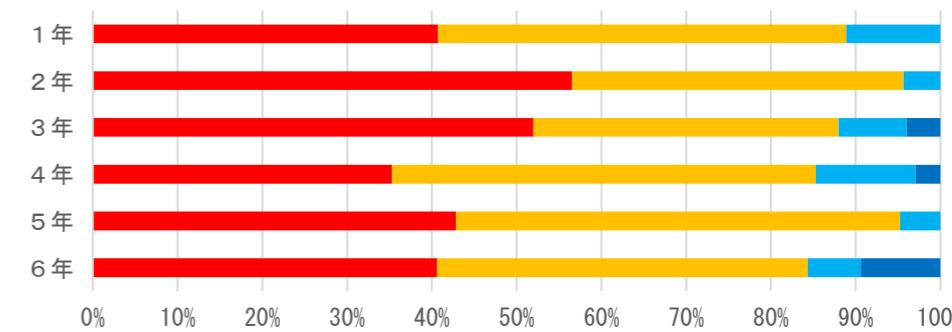
設問9 家庭は、あいさつ・礼儀・マナー・規範意識を身に付けるようにしている。



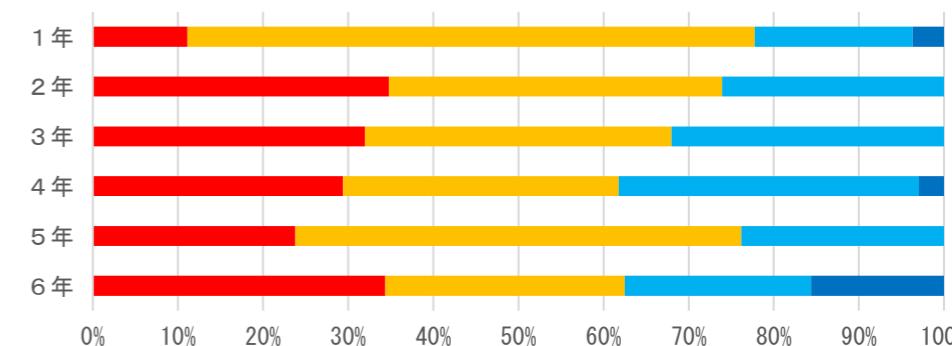
設問10 お子さんは、学校に行くのを楽しみにしている。



設問11 お子さんは、基礎的な学力が身に付いてきている。



設問12 お子さんは、家庭で学習する習慣が身に付いていている。



設問13 お子さんは、テレビやゲームの時間を決めるなど規則正しい生活を送っている。

